年　月　日

法医学分野で法医解剖を行われた方の御遺族へ

「法医剖検例における直接的肺傷害重症度評価のための病理病態分析」への協力のお願い

法医学分野では、法医解剖が行われた方の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に当分野において法医解剖が行われた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法　:本研究の目的は、溺水吸引・誤嚥や火炎等による気道を介した直接的肺傷害について、傷害の原因や発生後経過時間による病理病態的相違を、病理組織学・血液生化学および分子生物学的手法を用いて総合的に評価する指標を構築することにあります。本研究結果は、法医鑑定において肺傷害の原因や程度について論ずるにあたり有用な科学的根拠となる可能性が期待され、また致死的肺傷害例に関する検討として臨床医学へのフィードバックも期待されます。

研究に用いる試料・情報の項目：

①以下のデータを剖検記録より取得します。これらはいずれも通常の法医解剖時に得られるデータです。

年齢、性別、死因、受傷（発症）後経過時間、死後経過時間、肺の重量・性状、気管内容の性状

②剖検時に採取した血液につき、各種肺傷害マーカーの血液中および気管内液中の濃度を下記の方法で測定します。この血液は、解剖後の血液生化学検査に用いた後の残余検体です。

測定資料：左右心内血液および末梢血液（腸骨静脈血）の血清および気管内液

測定方法：RAGE、ST-2、IL-33 および CC-16　酵素結合免疫測定法(ELISA)

SP-A　化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)

SP-D　酵素免疫測定法(EIA)

上記のうち、SP-A、SP-D については SRL 株式会社で検査を行います。

③剖検時に採取した気管内液中の細胞および肺の病理組織において、上記の肺胞障害マーカーの免疫染色を行い、発現の様子を観察します。これらの試料は、解剖後の病理検査のために採取した残余を用います。

④剖検時に採取した肺組織から上記の各種肺胞傷害マーカーのメッセンジャーRNA（mRNA）を抽出、リアルタイム RT-PCR 法を用いて定量測定を行います（ヒトゲノム解析は行いません）。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに御遺族に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当大学における対応および大学医学部附属病院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科　法医学分野　教授　道上　知美

連絡先

岐阜県岐阜市柳戸１番１
岐阜大学大学院医学系研究科　法医学分野　道上　知美
Tel：058-230-6418
Tel：058-230-6000（夜間・休日）

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp